

## 放射性セシウム表面密度等の調査方法について

### 1. 木材製品

#### 【調査対象の種類】

木材製品（製材品、集成材、合単板、チップ）

#### 【調査項目】放射性セシウム表面密度（ $\text{Bq}/\text{cm}^2$ ）

（製材、合単板、集成材工場）

- ・木材製品（製材品、合単板、集成材）の両端及び中間の3部位を測定部位（A、B、C）とする。
- ・各測定部位（A、B、C）において、上下左右の4面をサーベイメータにより3回測定する。（時定数：10秒）
- ・調査実施工場毎に、木材製品を各10本分測定し、その平均値からバックグラウンド値を除いた値を測定値とする。

（チップ工場）

- ・木材製品（チップ）について、 $1,600\text{cm}^3$ 程度以上をビニール袋に詰めて、袋の1面をサーベイメータにより3回測定する。もしくは、チップのストックヤードの任意箇所をサーベイメータにより3回測定する。（時定数：10秒）
- ・調査実施工場毎に、木材製品（チップ）を各2～10体分測定し、測定回数分の平均値から、バックグラウンド値を除いた値を測定値とする。

#### ※バックグラウンド値

測定する検体より1m以上離れた場所1箇所にて、高さ1m地点でサーベイメータにより10回測定し、平均値を調査実施工場におけるバックグラウンド値とする。

### 2. 外構施設及び加工機械

#### 【調査対象の種類】

- ①外構施設（木材置き場、残材置き場、乾燥施設等）
- ②加工機械（バーカ、のこ盤、チップー等）

#### 【調査項目】空間線量率（ $\mu\text{Sv}/\text{h}$ ）

- ・外構施設及び加工機械の周囲において、サーベイメータにより5回測定する。（時定数：30秒）
- ・5回の測定結果の平均値を調査対象物の測定値とする。